



ABGICニュース

淡路少年少女発明クラブ

Awaji Boys & Girls Invention Club



未来の科学の夢 絵画展 5年連続入選!!

昨年の10月から11月にかけて、全4回の活動で取り組んだ「未来の科学の夢絵画展」。

令和元年度は澤田和於君が入選し、奨励賞を受賞しました。

スペースデブリ（宇宙ごみ）のリサイクルをテーマにした素晴らしい絵画でした。入選おめでとうございます。

淡路少年少女発明クラブは「未来の科学の夢絵画展」に、平成27年度から5年連続して入選となりました。

令和2年度も素晴らしい絵画で、続けて入選できることを願います。

たくさんのクラブ員たちが考えた「未来の科学の夢」が、近い将来に実現できることを願います。



スペースデブリをリサイクル 北淡小学校6年 澤田和於

宇宙にあるスペースデブリを専用のトンネルに吸い込ませて地上に送ります。そこで再利用できる状態にして宇宙に戻します。



特別工作教室①

メビウスの輪とミウラ折りを作ろう

藤川指導員 主幹

2009年12月21日(土)

12月21日(土)に、特別工作教室①として「メビウスの輪とミウラ折りを作ろう」に取り組みました。

180度ひねってつなぎ合わせたメビウスの輪を切っていくうちに、想像していなかった出来上がりにクラブ員もビックリした様子でした。

ミウラ折りは、たくさんの山折りと谷折りに苦戦するクラブ員もいましたが、全員が時間内にコンパクトに折りたためるミウラ折りを完成することができました。





特別工作教室②

ストローを使った風車、笛の製作

1月18日(土)
立谷指導員 主幹



特別工作教室③

パズルを作ろう 1月25日(土) 水本指導員 主幹

1月25日(土)に特別工作教室③として、平面型と立体型の2種類のパズル作りに挑戦しました。

平面型は、あらかじめ数字が書かれた紙に切れ込みを入れて、4つの数字を揃えるパズルです。

作るのはスムーズにできましたが、4つの数字を揃えるのが難しく、クラブ員・指導員ともに皆で楽しむことができました。

立体型のパズルは木のサイコロ8個をテープでつなぎ合わせて作るパズル。

8個の材料がすべて同じサイズで、つなぎ合わせるテープも同じ色のために、作っているうちに分からなくなるクラブ員もいましたが、時間内に完成させることができました。

どちらのパズルも発明に必要な頭脳と体を使った訓練になったと思います。



ペーパータワー

一宮地域子ども工作教室

2019年12月25日(水) 一宮公民館

出前 工作

風船ヘリコプター

北淡地域子ども教室 &
北淡小学校児童 合同教室

1月29日(水) 総合福祉センター

2019年12月25日(水)に一宮公民館にて、一宮地域の小学1年生から4年生までの30人を対象に出前工作を行いました。

A4用紙を使ってペーパータワーを作り、グループワークで高さを競い合いました。

天井に届きそうな高さのペーパータワーもあって驚きました。

この日はクリスマスということもあり、クリスマスツリーも製作しました。



1月29日(水)に総合福祉センターにて、北淡地域の小学生を対象に「風船ヘリコプター」の出前工作を行いました。

竹とんぼやヘリコプターが飛ぶ仕組みの話をして、飛び方の違いも考えて答えて貰いました。

竹とんぼは何故飛ぶ? 高く飛ばすにはどうする? 等の質問をして答えを自分で考える指導をしました。



教訓茶碗と紙コップフリスビー

津名地域子ども工作教室

2月8日(土) しづのおだまき館

2月8日(土)に、しづのおだまき館にて津名地域の小学生を対象に出前工作を行いました。

科学のしくみを学びながら、楽しく工作に取り込むことができました。

出来上がった紙コップフリスビーを飛ばして、飛距離や飛行時間を楽しみました。



※出前工作は、クラブの教室以外の活動として、主に教育委員会青少年育成課の依頼により6年ほど前から取り組んでいます。



阿南市少年少女発明クラブとの 指導員交流会

2月15日(土)

宗会長、堀口会長代理
廣瀬副会長、春木指導員、丸林指導員

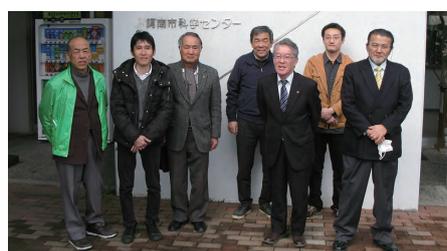
2月15日(土)に、徳島県にある阿南市少年少女発明クラブを訪問し、指導者交流会を行いました。

阿南市少年少女発明クラブは、会員数40名で毎月1回、阿南市科学センターで活動されており、訪問した日は今年度最後の教室で、閉講式も行われていました。

最後の教室「空気の実感してみよう」では、「浮沈子(ふちんし)」や、ペットボトルを用いた「ヘロンの噴水」づくりに挑戦されていました。

閉講式が終わった後に指導員研修を行い、クラブの活動報告や、運営・指導体制などについて情報や意見交換を行うことができました。

来年度も継続して阿南市少年少女発明クラブとの交流を予定しています。





一年を振り返って グループワーク、反省会、お楽しみ会

廣瀬指導員 主幹
2月8日(土)

2月8日(土)に、一年にわたる活動の締めくくりとして、保護者の方も参加して、グループワークと反省会、お楽しみ会を行いました。

【グループワーク】

割りばし15本を使って、どれだけ長い橋を作ることができるかに挑戦し、各グループで長さを競い合いました。

完成した直後に崩れたり、想像していた長さにならなかったりしましたが、グループ内で協力しながら、それぞれに工夫を凝らした割りばしの橋が完成しました。



【反省会】

廣瀬指導員のもと、淡路少年少女発明クラブとして活動した一年を振り返りました。

開始式からはじまり、課題工作やアイデア工作、体験学習や絵画展、特別工作教室など、自分の中で一番思い出に残っている活動を付箋に書き、ホワイトボードに貼り付けていきました。

書かれた内容や、体験学習で行ってみたい所など、来年度に行う教室の参考にしていきたいと思います。

【お楽しみ会(茶話会)】

軽食をしながら、保護者の方や指導員も一緒にビンゴゲームを楽しみました。

高学年のクラブ員が交代でビンゴゲームを進行し、とても和やかな雰囲気でお楽しみ会を行うことができました。



※3月7日(土)に予定していた終了式と指導員会議は、新型コロナウイルス拡大防止のために中止となりました。

協賛企業のご紹介

淡路少年少女発明クラブに協賛企業としてご支援をいただき、誠にありがとうございます。



ミツ精機株式会社



株式会社三和製作所



ムネ製薬株式会社



山本光学株式会社



株式会社ツダ



淡路少年少女発明クラブ ABGICニュース 第29号 2020年(令和2年)5月23日発行

- 事務局/津名公民館(しづのおだまき館)
- 住所/〒656-2131 兵庫県淡路市志筑3117-1
- TEL/0799-62-0157 ●FAX/0799-62-6844
- ホームページ/http://www.abgic.com/
- 編集委員/丸林貴博、廣瀬幸治、堀口 純 [issue 100]